

# 第2学年〇組 体育科学習指導案

平成28年11月16日(水) 第5校時 体育館

1 単元名 「ねらってゴー!～チームワークでお宝ゲット!～」(ゲーム)

## 2 運動の特性

(1) 一般的特性

〇的に当てたり、的に倒したりすることで、楽しさを感じる運動である。

〇ボールを操作できる位置に動いたり、ねらったところにボールを投げたり、ボールが飛んでくるコースに入ったりする等、攻守の動きを楽しむことができる運動である。

(2) 児童から見た特性

ボール投げゲームの楽しさや喜びを感じる要因	ボール投げゲームを遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・的にボールを当てて点数が入ったとき</li> <li>・攻め方を工夫するとき</li> <li>・自分たちの考えた作戦が成功したとき</li> <li>・ルールが簡単でわかりやすいとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い通りに投げられないとき</li> <li>・ボールをうまくキャッチできないとき</li> <li>・的に当たらないとき</li> <li>・ボールにさわれないとき</li> <li>・失敗した時に友達からせめられるとき</li> <li>・ボールに当たって痛いとき</li> <li>・ボールを怖く感じる時</li> </ul>

## 3 児童の実態

5月に実施した「新体力テスト」の結果を「県体力標準値」と比較すると、本学級の児童は、男子は握力とボール投げが、女子は握力と立ち幅跳びが「県体力標準値」よりも下回っている。ボール投げでは、「予備動作がない」「手の振りが小さい」など、投げる動作が小さい児童や、地面にボールを叩きつけてしまう児童もいる。

(1) 技能

児童は、第1学年の「ボール遊び」「ボール投げゲーム」、第2学年1学期の「ボール投げゲーム」で、簡単なボール操作や動きを学習している。多くの児童が休み時間、鬼遊びやリレーなどの走る遊びやタイヤ遊びや鉄棒などの遊具遊びをしている。週1回設定しているクラス遊びでも、ボールを使った遊びよりも鬼遊びを好んで行っている。休み時間などでドッジボールを行うと、特定の児童はボールを投げたり捕ったりすることで楽しんでいるが、上手に投げられない児童や、ボールを捕れない児童もいる。それらの児童はボールに当たらないように逃げることでゲームの楽しみを感じているようである。ボールを思い切り投げたり、ねらったところに投げられたりする児童は少数の児童に限られている。

(2) 態度

本学級の児童は、運動への関心が高く、多くの児童が体育の授業に意欲的に取り組んでいる。運動が得意な児童も多いが、体を動かすことさえ苦手としている児童もいる。第2学年1学期の「ボール投げゲーム」では、積極的にボールを操作したり、ゲームに参加したりする児童も多く見られた。

1学期に実施した意識調査から、ボールを使った運動では、多くの児童は「投げる」ことができるようになりたいと考えている。

<意識調査>

一部略

①ボールを使った運動は好きですか。		
はい	人	<理由> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいから。</li> <li>・遠くへ投げられるから。</li> <li>・うまく投げられるから。</li> <li>・習い事でやっているから。</li> </ul>
いいえ	人	<理由> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく投げられないから。</li> <li>・ボールに当たると痛いから。</li> <li>・ボールが捕れないから。</li> <li>・当たるのが怖いから。</li> </ul>

## ②ボールを使った運動ではどんなことができるようになりたいですか。

<できるようになりたいこと>

- ・遠くまで投げたい。　・強いボールを投げたい。　・狙ったところへ投げたい。
- ・うまく投げたい。　　・まっすぐ投げたい。　　・ボールで人を当てたい。
- ・ボールをうまくキャッチしたい。

### (3) 思考・判断

1年生のときは、ボールを持って投げることで精一杯の児童が多かったが、第2学年1学期の「ボール投げゲーム」の学習では、ペットボトルやフラフープなどの的に当てたり、的を倒したりする目的のボール遊びを通して、児童がボールの扱いにも慣れてきており、目的の置き方を工夫したり、ルールを工夫したりすることができるようになってきている。

## 4 教師の指導観

### (1) 技能

意識調査の結果から、投げたり、捕ったりする動きに苦手意識を感じている児童が多く、「投げる」動作を中心にボール操作を身に付けさせることが重要であると考え。児童が遊びで行っているドッジボールでは、内野が動いてしまうと、ねらってうまく投げるができなくなり、「投げる」動作を中心に身に付けることが難しい。そのため、的にねらって行くとゲームやボール投げゲームを取り入れていく。技能習得に向けては、小さくて柔らかいハンドボールを使うことで、片手でボールを持ち、ねらった所へ投げられるよう指導内容を工夫する。毎時間取り入れている「パワーアップタイム」を通して必要な動きをスモールステップで取り上げ、個人の技能を高めていきたい。単元の学習を通して、児童の様子を観察しながら、ルールやコートの大きさを変え児童の実態に合った活動を、タオル振りや紙鉄砲を鳴らして投げるフォームを意識させるための活動を取り入れ、技能の習得につなげていく。

### (2) 態度

一人一人の児童にボールにふれる機会、友達と関わる機会を多く与えることで、個人の力を発揮しながらチームで協力することができるようにしていきたい。練習中、お互いに認め合い、励まし合える言葉がけを積極的に行わせ、ゲームの中でも、挨拶、円陣でのファイトコール、応援を意識させ、友達との肯定的な関わり合いを身に付けさせる。また、過程を大切にゲームの勝敗よりも、決まりを守って、協力して運動できるようにしていきたい。

### (3) 思考・判断

掲示物や児童のモデリング、動き方のマーキングなど、視覚からの情報と説明を併用し、ゲームに必要な動きや状況判断を効率よく理解させ、チームで攻め方を工夫し、楽しくゲームができるようにしていきたい。また、友達のよい動きを真似したり、お互いにアドバイスをさせながら活動に取り組みせていきたい。よい動きを見つけたり、よい動きを真似してゲームに生かしたりしている児童やチームを称賛していくことで全体にも広げていきたい。

## 5 研究テーマとの関わり

研究テーマ 『仲間と共に学び合い、進んで体力を高めようとする児童の育成』  
～仲間との関わり合いを大切に「ともに伸びる子」をめざして～（3年次）

### (1) めざす児童像

- 運動を通して、互いに学び合い、認め合い、励まし合いながら、ともに伸びる子
- いろいろな運動（遊び）の場を通して、仲間と進んで体力を高めながら、ともに伸びる子
- 心身ともに健康・安全な生活を通して、めあてをもちながら、ともに伸びる子

### (2) 仮説と手立て

仮説1 運動の特性や児童の実態を正しく理解し、仲間との豊かな関わり合いを育む学習を工夫すれば進んで体力を高めようとする児童が育つであろう。

#### 【手立て①】基礎感覚づくりの時間の設定

- ・ボール投げゲームに必要な感覚や技能をパワーアップタイムで行う。しっかりと動きをおさえることで、基本学習や発展学習に生かせるようにする。

### 【手立て②】学習の場の工夫

- ・パワーアップタイムを設定し、スキルアップを図るとともに運動量を確保する。
- ・ルールやコート の広さなどを工夫し、児童の実態に合ったゲームができるようにする。

### 【手立て③】仲間との関わり

- ・チーム名やファイトコールを考えさせたり、仕事を役割分担したりすることで所属意識をもたせ、協力して活動できるようにする。
- ・作戦カードを提示することで、チームで作戦を選んだり、考えたりできるようにする。
- ・児童から出た「ほめ言葉」や「はげましの言葉」を掲示し、チーム内での声かけを増やす。よさを認め、助言ができるようにしたい。

仮説2 運動(遊び)の必要性を理解し、日常生活における習慣化が図れれば、めあてをもって健康・安全な生活を送ることができる児童が育つであろう。

### 【手立て①】休み時間の効果的な活用

- ・週1回、遊び係を中心にクラス遊びを行い、集団で遊んだり運動したりする機会を作る。
- ・本単元においては、朝や帰りの会や休み時間などに、補強運動として、握力トレーニングをしたり、投げるフォームを意識させるためにタオル振りや紙鉄砲を鳴らしたりする活動を行い、授業につなげていく。

## 6 単元 の 目標

- (1) 友達と協力し合い、励まし合って、仲よく安全にゲームを楽しむことができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) ゲームの動き方を知り、ゲームの規則を工夫したり、攻め方を決めたりすることができるようにする。 【思考・判断】
- (3) ゲームを楽しく行うための簡単なボール操作や動きを身に付けることができるようにする。 【技能】

## 7 単元 の 評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元 の 評価規準	○ゲームに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り、勝敗を受け入れて、友達と仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	○簡単なゲームの規則を工夫したり、攻め方を決めたりしている。	○ゲームを楽しく行うための簡単なボール操作や動きを身に付けている。
学習活動に即した評価規準	①ゲームに進んで取り組もうとしている。 ②運動の順番を守り、勝敗の結果を受け入れて、友達と仲よく運動をしようとしている。 ③友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ④ゲームを行う場所や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。	①ゲームの行い方を知るとともに、得点の方法などの規則を選んでいる。 ②ゲームの動き方を知るとともに、攻め方を選んだり見付けたりしている。	①ゲームにおいて簡単なボール操作(的をねらって投げる・味方へ手渡す、パスを出す・捕る)やボールを持たないときの動き(守備者のいない位置、パスを受けられる位置に動くなど)ができる。

## 8 単元の計画

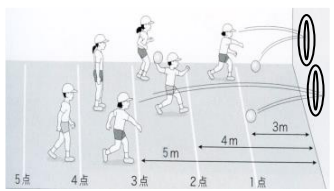
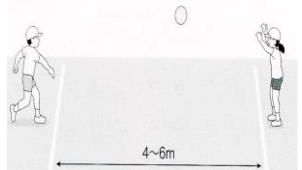
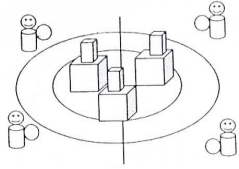
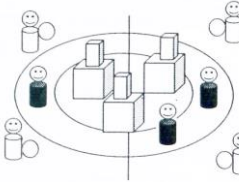
### (1) 領域（ゲーム・ボール運動）の取り上げ方

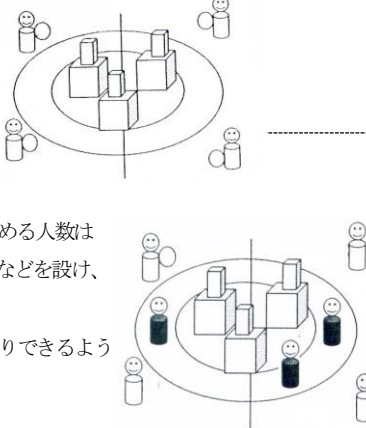
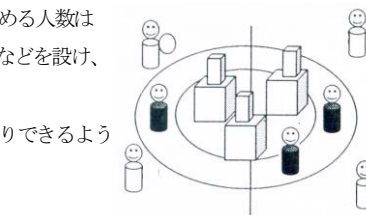
学年	鬼遊び	ボールゲーム	ゴール型(ゲーム)	ネット型(ゲーム)	ベースボール型(ゲーム)
第1学年	鬼遊び 5時間	ボール遊び4時間 ボール投げゲーム6時間 ボール蹴りゲーム5時間			
第2学年	鬼遊び 6時間	ボール投げゲーム①4時間 <b>ボール投げゲーム② 7時間(本単元)</b> ボール蹴りゲーム6時間			
第3学年			ラインサッカー8時間 ハンドボール 8時間 タグラグビー 6時間		テーパーボール6時間
第4学年			リングゲーム 9時間 タグラグビー 8時間	キャッチソフトバレー 7時間	
第5学年				ソフトバレー6時間	ソフトボール6時間
第6学年				ソフトバレー6時間	

### (2) 運動種目（ボールゲーム）の取り上げ方

学年	教材	目指す動き
1	ボール遊び	○ボールを転がしたり、投げたり、ついたり、捕ったりしながら運動すること。
	ボール投げゲーム	○ボールを転がす、よける、捕るなどの簡単なボール操作や動きによつて的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームをすること。
	ボール蹴りゲーム	○ボールをねらって蹴る、止めるなどの簡単なボール操作や動きによつて、的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームをすること。
2	ボール投げゲーム① (的当てゲーム)	○的当てのボール遊びで、ゲームを楽しく行うための簡単なボール操作（投げる・捕る・転がすなど）を身に付けること。
	ボール投げゲーム② (シュートゲーム)	○簡単なボール操作（的をねらって投げる・味方へ手渡す、パスを出す・捕る）やボールを持たないときの動き（守備者のいない位置、パスを受けられる位置に動くなど）によつて、攻めや守りのあるゲームをすること。
	ボール蹴りゲーム	○ボールをねらって蹴る、止めるなどの簡単なボール操作や、ボールを持たないときの動き（空いている場所へ動くなど）を使ってゲームをすること。

(3) 指導と評価の計画 (7時間扱い) 本時は○印 4/7時

時	1	2	3	
ねらい	○学習の見通しをもち、安全に気をつけ、協力して運動しよう。	○ボールの投げ方、捕り方を練習しよう。 ○ゲームのやり方を覚えよう。	○ねらった所へしっかり投げよう。	
指導の内容	・学習の進め方 ・チーム編成 ・運動の行い方	・運動の行い方 ・ボールの投げ方、捕り方	・ボールの投げ方、捕り方 ・攻め方、守り方	
学習過程	<p>1 集合、整列、挨拶をする。</p> <p>2 本時の学習内容を確認する。</p> <p>3 準備運動をする。</p> <p>《オリエンテーション》</p> <p>3 単元の内容と本時のねらいを確認する。</p> <p>4 学習の仕方や進め方に見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程</li> <li>・1時間の流れ</li> <li>・用具の確認</li> <li>・学習の場づくり</li> <li>・学習カード</li> </ul> <p>※掲示物を用いて、わかりやすく効果的に説明する。</p> <p>5 チーム編成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4チーム編成</li> <li>・1チーム5～6名</li> <li>・兄弟チームを作る。</li> </ul> <p>6 試しの運動をする。</p> <p>①パワーアップタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろキャッチ</li> <li>・壁当てゲーム</li> <li>・パスゲーム</li> </ul> <p>②的当てゲーム</p> <p>※どの用具をどこに置くのかを示し、安全に短時間で準備ができるようにする。</p> <p>※試しの運動をしながら具体的に説明をする。</p>	<p>4 本時のねらいを確認する。</p> <p>5 パワーアップタイムをする。</p> <p>①いろいろキャッチ</p> <p>※ボールを投げたり、ついたりなど、個人で簡単なボール操作ができるようにする。</p> <p>②壁当てゲーム</p> <p>※ボール投げゲームのチームで行う。線から投げて壁的に当てる。</p> <p>※投げる時は、正しいフォームを意識して投げる。</p> <p>※壁に最も近い線から投げいき、遠くからねらった所に投げるができるようにする。</p>  <p>③30秒パスゲーム</p> <p>※2人組で行う。30秒間に何回パスできるかを競う。</p> <p>※相手が捕りやすいボールを投げたり、体の正面でボールを捕ったりできるようにする。</p>  <p>④的当てゲーム</p> <p>※5～6名編成の男女混合チームで行う。兄弟チームを作り、兄弟チーム対抗で行う。ボールは一人1個。的を落とすと1点。兄チームが投げている時は、弟チームがボールを拾ったり、得点を数えたり、応援したりする。</p> <p>※ねらった所に投げるができるようにする。</p> 		
			<p>6 ボール投げゲームをする。</p> <p>※5～6名編成の男女混合チームで行う。ボールは一人1個持つ。攻める人数は4人、守り的人数を3人とする。得点係やボールを捕る係などを設け、適宜交代する。</p> <p>※ねらった所に投げるができるようにする。</p> 	
	<p>7 後片付け・整理運動をする。</p> <p>8 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードへの記入</li> <li>・ねらいに沿った振り返り</li> </ul> <p>9 次時の予告・挨拶をする。</p>			
評価計画	関	③④		
	思			
	技		①	①
	方法	観察	観察・学習カード	観察・学習カード
場所	6	5	5・6	

④	5	6	7
○攻め方を選んだり、見付けたりしよう。	○ねらった所へしっかり投げよう。 ○攻め方を選んだり、見付けたりしよう。	○ルールを工夫して楽しくゲームをしよう。	○今まで学習したことを生かして、ボール投げゲーム大会をしよう。
・ボールの投げ方、捕り方 ・攻め方、守り方	・ボールの投げ方、捕り方 ・攻め方、守り方	・ルールの工夫	・学習のまとめ
<p>1 挨拶、整列、挨拶をする。</p> <p>2 本時の学習内容を確認する。</p> <p>3 準備運動をする。</p>			
<p>4 パワーアップタイムをする。</p>			
<p>①壁当てゲーム</p> <p>※ボール投げゲームのチームで行う。いくつかのラインを引き、ボールを壁的に当てる。</p> <p>※壁に最も近い線から投げていき、速くへ投げることができるようにする。</p>	<p>②30秒パスゲーム</p> <p>※2人組で行う。30秒間に何回パスできるかを競う。</p> <p>※相手が捕りやすいボールを投げたり、体の正面でボールを捕ったりできるようにする。</p>	<p>②パスゲーム</p> <p>※3～4人組でパスを行う。間に人が入り、パスを防ぐ。</p> <p>※相手が捕りやすいボールを投げたり、体の正面でボールを捕ったりできるようにする。</p>	<p>4 本時のねらいを確認する。</p> <p>5 ねらってゴー！ボール投げゲーム大会を行う。</p> <p>※これまでの学習を生かし、ゲームをする。総当たり戦で行い、1試合は2ゲームとする。</p> <div data-bbox="1093 790 1417 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;ゲーム1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦タイム① (1分) →ゲーム (3分)</li> <li>    ※攻守交代</li> <li>・作戦タイム① (1分) →ゲーム (3分)</li> </ul> <p>&lt;ゲーム2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦タイム② (1分) →ゲーム (3分)</li> <li>    ※攻守交代</li> <li>・作戦タイム② (1分) →ゲーム (3分)</li> </ul> </div> <p>※ルールを守り、運動にふさわしい態度で取り組ませる。</p> <p>※積極的に声をかけ、励まし合いながらゲームができるようにする。</p>
<p>③的当てゲーム</p> <p>※ボール投げゲームのチームで兄弟チームを作り、兄弟チーム対抗で行う。ボールは一人1個</p> <p>※ねらった所に投げることができるようにする。</p>			
<p>5 本時のねらいを確認する。</p> <p>6 ボール投げゲームをする。</p> <p>※5～6名編制の男女混合チームで行う。ボールは1個。攻める人数は4人、守りの人数を3人とする。得点係やボールを捕る係などを設け、適宜交代する。</p> <p>※ねらった所に投げたり、相手が捕りやすいボールを投げたりできるようにする。</p> <p>※自分の所に来たボールを捕ることができるようにする。</p> <p>※的を当てるために作戦を立てることができるようにする。</p>			
<p>7 後片付け・整理運動をする。</p>			
<p>8 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードへの記入</li> <li>・ねらいに沿った振り返り</li> </ul>			
<p>9 次時の予告・挨拶をする。</p>			
			①②
②	②	①	
	①		
観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード	観察・学習カード
6	6	6	5

9 本時の学習と指導（4／7時）

(1) ねらい

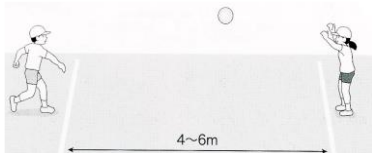
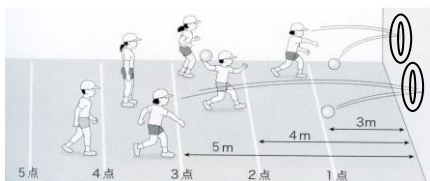
○攻め方を選んだり、見付けたりしようとする事ができる。【思考・判断】

(2) 準備

・赤白帽子 ・ビブス ・ハンドボール1号球 ・ダンボール箱 ・ポートボール台 ・得点セット

・掲示資料 ・CDデッキ ・ストップウォッチ ・学習カード

(3) 展開

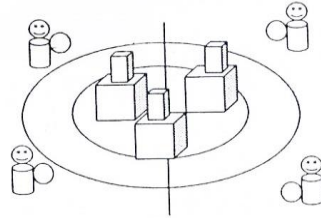
段階	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 5分	<p>1 集合、整列、挨拶、健康観察をする。</p> <p>2 本時の学習内容の確認をする。</p> <p>3 準備運動をする。</p>	<p>○見学者を確認し、参加の仕方を指示する。</p> <p>○健康状態を観察し、服装を整えさせる。</p> <p>○元気の良い挨拶で気持ちよく学習を始めるようにする。</p> <p>○本時の学習内容を確認するとともに、前時の児童のがんばりを紹介し、本時への意欲をもたせる。</p> <p>○一つ一つの動きをていねいに行わせ、各部位の可動性が高まるように声かけをする。</p>
展開 32分	<p>4 パワーアップタイムをする。</p> <p>・投げる動作、捕る動作を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;投げる動作のポイント&gt;</p> <p>①投げる手が後ろになるように体を横向きになる。</p> <p>②後ろ足に体重をかける。</p> <p>③ボールの位置は頭の後ろに、ボールを持たない手は投げる方向へ伸ばす。</p> <p>④体をひねる。おへそを前に向ける。</p> <p>⑤腕を大きく振り、前足に体重を移動しながら投げる。</p> </div> <p>(1) 壁当てゲーム</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;壁当てゲームの行い方&gt;</p> <p>・チームで行う。線からボールを投げて壁的に当てる。</p> <p>・投げる人は、投げ方を意識しながら投げる。投げた人が自分のボールを拾ったら、次の人が投げる。</p> <p>・壁に最も近い線から投げ、的に当たったら、後ろの線へ下がる。</p> </div> <p>(2) 30秒パスゲーム</p> <p>・パス練習→パスゲーム</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;30秒パスゲームの行い方&gt;</p> <p>・2人組で行う。30秒間に何回パスできるかを競う。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<p>○ボール投げに関する基本的な技能を身に付けるために毎時間取り入れていく。個人やペア、チームで行う。</p> <p>○投げる動作、捕る動作のポイントを確認してから活動を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;捕る動作のポイント&gt;</p> <p>①体の正面で捕る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・胸の前で捕る。(おにぎりキャッチ：両手の親指と人差し指で三角を作るように構えて捕る。)</li> <li>・胸や腹にボールをつけて抱えるようにして捕る。</li> </ul> </div> <p>○うまくボールを操作できない児童には、一緒に動いてボールの扱い方を助言する。</p> <p>○余裕のある子は、反復横跳びのようにステップを踏んで投げさせる。</p> <p>○投げる動作ができていない児童やよく声かけをしているグループを称賛する。</p> <p>○動作がうまくできない子には、動作を確認したり、一緒に動いたりして支援していく。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>○ボールを投げること、捕ることに集中させる。</p> <p>○相手が捕りやすいボールを投げるように声かけをする。</p> <p>○ボールが届かないのに距離を広げてしまうことがないようにさせる。</p> <p>○しっかりボールを投げたり、ボールを捕ったり、声かけができていないペアを称賛する。</p> <p>○うまくできない児童には、投げ方や捕り方を確認して支援していく。</p>

- (3) 的当てゲームをする。
- ・ゲーム1をする。(1分) …兄チームで
  - ・ゲーム2をする。(1分) …弟チームで

<的当てゲームの行い方>

- ・5～6名編制の男女混合チームで兄弟チームを作り、兄弟チーム対抗で行う。ボールは一人1個持つ。
- ・兄チームが、外側の円からの的を狙う。ボールを転がしたり、投げたりして、的が倒れたら1点。全部倒れたら、また的を組み立ててゲームを続ける。
- ・弟チームは、円の外側に立ち、ボールを拾ったり、得点を数えたり、応援したりする。
- ・ゲーム2では、兄チームと弟チームの役割を交代する。

- ルールを守り、運動にふさわしい態度で取り組ませる。
- コートチェンジを素早く行わせ、スムーズにゲームができるようにする。
- 判定がもつた場合やトラブルになりそうな場合は、教師が関わる。
- ボール運動が苦手な児童の伸びを認め、声をかける。
- たくさん投げていたチームを称賛し、意欲向上を図る。



- 5 本時のねらいを確認する。

【第4時 学習課題】

○せめ方をえらんだり、見つけたりしよう

- 6 ボール投げゲームをする。

- (1) 前時までの攻め方の確認をし、ボールが1個の場合の攻め方を考えさせる。
- (2) ゲーム1をする。
  - ・ゲーム(3分) →攻守交代→ゲーム(3分)
- (3) ゲーム1を振り返り、できた攻め方や見つけた攻め方を話し合う。
- (4) ゲーム2をする。
  - ・作戦タイム(1分)
  - ・ゲーム(3分) →攻守交代→ゲーム(3分)

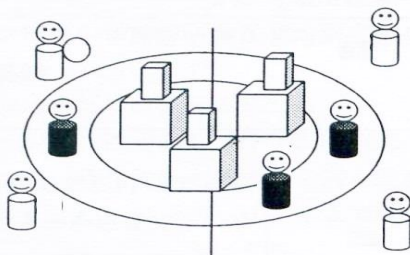
<ボール投げゲームの行い方>

- ・5～6名編制の男女混合チームで行う。ボールは1個。
- ・攻めの人数は4人、守りの人数を3人とする。得点係やボールを捕る係などを設け、適宜交代する。
- ・攻めのチームは、外側の円からの的を狙う。的が倒れたら1点。全部倒れたら、攻めのチームが的を組み立ててゲームを続ける。
- ・攻める際には、ボールを持って移動してもよい。ボールを転がしてパスをするのもよい。
- ・守りのチームは、外側の円と内側の円の間位置をとり、的に当てられないように手足や全身を使って防ぐ。ボールを捕ったら、転がして相手に渡す。
- ・3分で攻守交代をする。同じ対戦相手第2ゲームまで行う。

- 前時までの攻め方を確認し、ボールが1個の場合の攻め方を考えさせる。動きのイメージを持たせてからゲーム1を行う。その後、ゲーム1を振り返り、攻め方を確認した後、ゲーム2を行う。
- ゲーム前は、挨拶やチームでコールをし、温かい雰囲気やゲームができるようにする。
- ルールを守り、運動にふさわしい態度で取り組ませる。
- 積極的に声をかけ、励まし合いながらゲームができるようにする。声かけをたくさん行っている児童やチームを称賛する。
- ゲームとゲームの間は素早く行動し、スムーズにゲームができるようにする。
- 判定がもつた場合やトラブルになりそうな場合は、教師が関わる。

◆攻め方を選んだり、見付たりしようとしている。  
(観察・学習カード) 【思考・判断】

- △努力を要すると判断させる状況(C)の児童への指導の手当て
- ・ボール操作(的をねらって投げる・守備者のいない所へパスをするなど)やボールを持たないときの動き(守備者のいない位置やパスを受けられる位置に動くなど)をするよう声かけしたり、誘導したりする。
- ◎十分満足できると判断される状況(A)の児童の具体的な姿
- ・ボール操作やボールを持たないときの動きを踏まえながら、攻め方を選んだり、見付たりし、積極的に声かけをしている姿である。





整理 8分	7 後片付け・整理運動をする。	○協力して素早く安全に片付けをさせる。 ○ゆったりとした動作で全体をほぐすようにする。
	8 本時のまとめをする。	○学習カードに記入させ、短時間で効率的に振り返りができるようにする。 ○本時のねらいに沿って学習を振り返り、ねらいを達成した個人や互いに高め合っていたチームを紹介し、全体に広めるようにする。
	9 次時の予告・挨拶をする。	○けがや体調の確認をする。 ○次時の予告をし、意欲を高めるようにする。 ○元気よく気持ちのよい挨拶で学習を終わりにする。

(4) 会場図

